

す。余談ですが、この掃除機の吸入口を邪魔することで糖分の吸収を邪魔する薬があれば、血糖値の上昇を抑える薬になりますし、吸入口の形に合わない糖分であれば、カロリーゼロの甘味量ということになります。

*大腸の場合

大腸には小腸のような絨毛やヒダといった構造はなく、腸管の壁で吸収します。小腸の『絨毛』のようなスグレモノではないため、機能するために助けが必要です。詳しく言うと塩分も含め水を吸収するためには『酪酸』が必要です。『酪酸』は腸内の弱酸性環境を調整して、良い細菌が働きやすくするとともに、腸管が蠕動運動や吸収など機能的な働きをする上での重要なエネルギー源になっています。この『酪酸』は腸内に棲む細菌が食物繊維などを材料にして造る有機酸の一種で、料理に使う酢の成分である酢酸と同種の物であり、銀杏の実が出すのと似た臭い（簡単に言うとウンコ臭い）を持っています。

【水は吸収できないと、どうなるの？】

*小腸の調子が悪いとき

約8割の水分を吸収している小腸で吸収ができなくなると、大腸に短時間に多量の水分が押し寄せることになります。

大腸の容積は2リットル程度ですが、それ以上に水分が押し寄せると、吸収に必要な十分な時間をかけられなくなったり、そもそもの吸収できる量を超えることになります。つまり、大腸の中に多量の水が残ってしまい水を多く含んだ便である下痢になるのですが、水ばかりの便である水様便がずっと続いているときには、小腸に問題がある可能性が高いです。

この症状がひどく表れる病気としてはコレラがあります。「JIN 仁」というドラマでもやっていましたが、点滴がなかった時代には、コレラにかかると脱水が原因で多くのヒトが亡くなりました。

*大腸の調子が悪いとき

病院にかかっている患者さんにみられるのが、抗生剤が効きすぎてしまった場合です。前述しましたが、大腸で水分を吸収するときには酸の一種である酪酸が必要です。これは大腸の中にいる細菌によって食物のカスから造られている酸なので、抗生剤を使うことにより良い細菌が死んでしまうと、酪酸ができなくなりエネルギー不足になります。酪酸というエネルギーがないと十分な腸管運動ができず吸収に必要な時間を稼げないとともに、水分が吸収できないため